

2011 中間発表会 活動報告書

ISFJ *Inter-University Seminar for the Future of Japan*

文責：坂本英樹

【開催日時】

10月9日(日)

【会場】

明治大学リバティータワー

【参加者】

13 大学 33 研究会 280 名

【企画趣意】

参加者が12月の政策フォーラムに向けて政策提言論文を執筆する過程で、実務家・大学教授のゲストの方々から発表(パワーポイント使用)についてご意見をいただくことで、より実現性の高く、多角的な視点を盛り込んだ政策提言論文へとブラッシュアップさせるための機会と位置付けました。

【企画内容】

- ・参加者による論文の中間発表
- ・参加者の発表内容、研究の方向性及び発表の仕方などに関してのゲスト講評
- ・発表を行う上でのアドバイスや、研究内容・方向性に関して、参加者からゲストの方に全体の場で質問
- ・上記の内容で、各班ゲストの方への個別相談

【総評】

今回の中間発表会の位置付けが、12月に行われます政策フォーラムのためのブラッシュアップということで、参加者の方には、時間内に発表する、ということ意識してもらいながら、他のチームの知らない人達、さらにはゲストの方も見て、という政策フォーラムに近い形式での発表をしていただきました。今回の発表が、たとえば時間の使い方がうまくいかなかった班はその点をもう一度見直す、など政策フォーラムでの発表に向けて良い調整の役割になっていましたら幸いです。

発表の後は、参加者同士の質疑応答、そのあとにゲストの方から講評をいただき、最後にはゲストの方に参加者の方が論文内容や発表方法について個別に相談しました。

第三者の方から、実現性や多角性といった視点からの指摘を受けたことによって、論文の方向性がより明確に定まった、との声も多くいただきました。

今年度の残るイベントも、最後の政策フォーラムのみとなりましたが、この中間発表会がフォーラム前最後のイベントとして少しでも参加者の方のお役に立ちましたら、うれしく思います。

